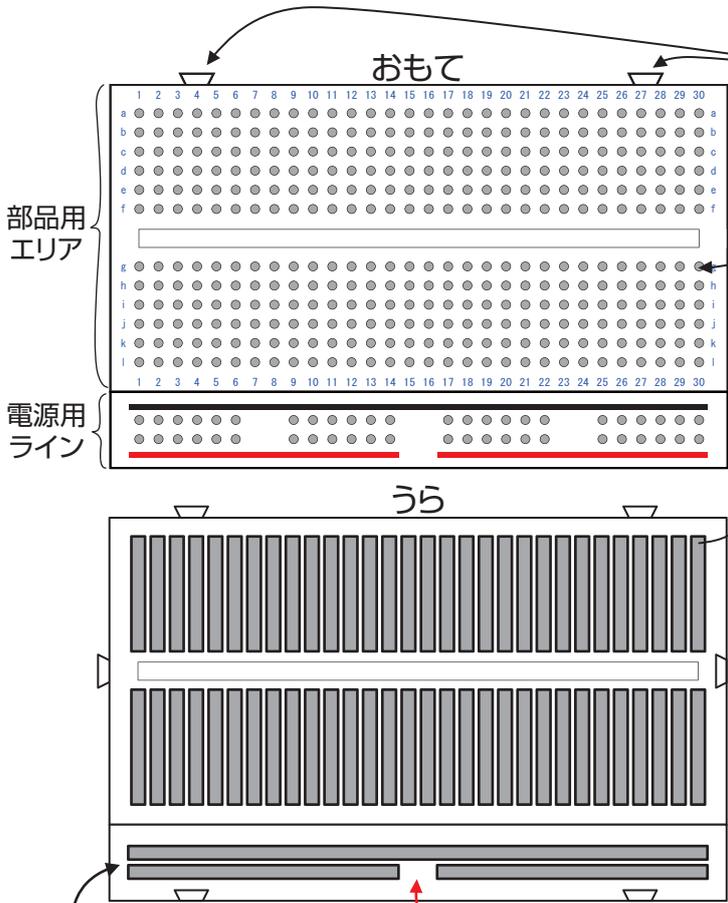


# 「ブレッドボードの使い方」

部品やリード線を差すだけで回路が組み立てられる回路基板です。  
(ハンダ付けが不要!)

## ■ブレッドボードの構造

※本例は“SAD-101 (小型ブレッドボード)”です



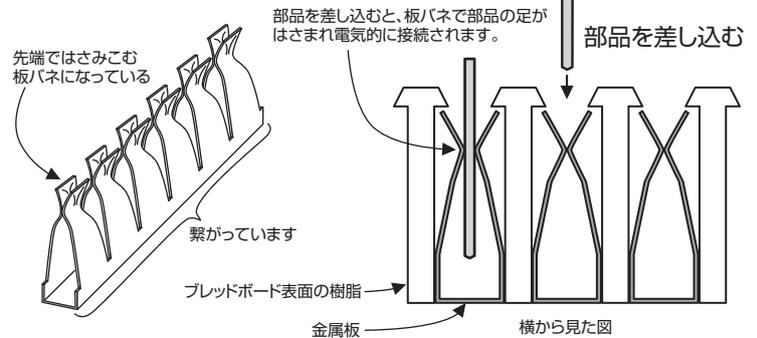
連結用ブロック：左と下側に凹部分があり、凸凹を合わせてワンタッチで接続できます

部品取り付け用の穴：ブレッドボードの樹脂の表面には2.54mmピッチで穴が並んでいます

金属板がはめ込まれています

部品エリアは縦に6ピンずつ連結。  
電源ラインは横方向に連結されています。

金属板は下図のような構造になっています。



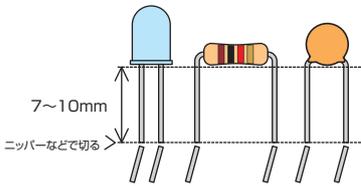
電源ラインの真ん中は切れているので注意!

SAD-101の裏面は透明テープを貼って絶縁・保護してあります。  
透明なのでいつでも金属板の並びをチェックできます。

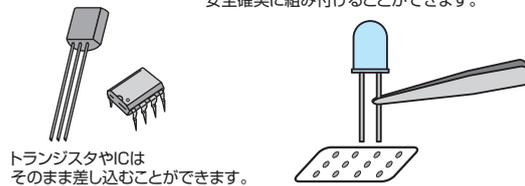
## ■部品や導線の差し込み方

差し込む部品やジャンパ線の太さはφ0.3~0.8mm程度が適切です。

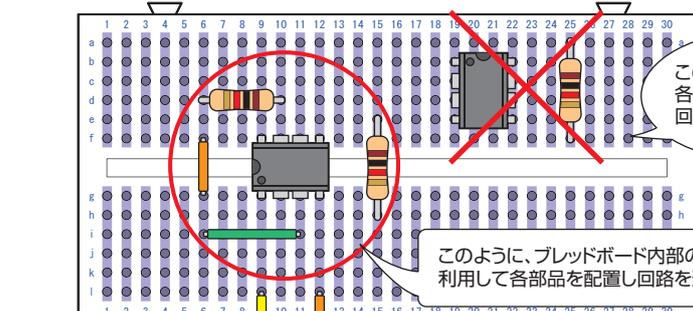
LED、抵抗、コンデンサなど足が長い部品は7~10mm程度に切りそろえて差し込みます。



部品を差し込むときは、ピンセットやラジオペンチで部品の足をささえつつブレッドボードに差し込むと安全確実に組み付けることができます。



トランジスタやICはそのまま差し込むことができます。



このように、ブレッドボード内部の接続済みのパターンを利用して各部品を配置し回路を形成しましょう。

この配置は×です。  
各部品の足がショートし回路が形成されません。

電源ボックス 電源ラインには電池ボックスなどを接続します。  
※部品の差し替え中は電源OFFにしましょう

赤=プラス(+), 黒=グランド、マイナス(-)として使いましょう

## ■ジャンプワイヤの長さとお色

ジャンプワイヤキット(SKS-350, SKS-140)のカラーリングです。太さはφ0.64mm、差し込む長さは6~8mmとなっています。

導線(実寸)	色	長さ
	-	2.54×1 = 2.54 [mm]
	赤	2.54×2 = 5.08 [mm]
	橙 オレンジ	2.54×3 = 7.62 [mm]
	黄	2.54×4 = 10.16 [mm]
	緑	2.54×5 = 12.7 [mm]
	青	2.54×6 = 15.24 [mm]
	紫	2.54×7 = 17.78 [mm]
	灰	2.54×8 = 20.32 [mm]
	白	2.54×9 = 22.86 [mm]
	茶	2.54×10 = 25.4 [mm]